

別 紙

監査項目	意見	改善方針	措置の内容
平成14年度の協定当時の工事概算の明細とその適正について	当初協定に基づく工事費用額では、工事全体を対象とする工事費用に対し不足を生じることは予測できたはずであるが、説明が十分でなかった。	①今後は、将来起こり得る課題等も含め適時適切に説明し、本事業について十分な理解を得られるよう努めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事の工程スケジュールの理解に資するよう、平成19年10月から、予定工程、実施工程を明示して議会報告を実施した。 ・今後、開業後の運営計画など課題となる事項についても、早期の説明に努めていくこととした。 ・ホームページ等により、本事業の情報を随時発信することとした。
平成17年度の台東区負担35億円増額の根拠とその適正について	<p>今回の事業（プロジェクト）の施工者は東京メトロになっており、台東区のチェック体制が追認的であるため、納期・予算管理が厳密さを欠いていたと判断される。</p> <p>台東区には、今回の（仮称）上野広小路駐車場建設を、期限内に定められた経費で遂行するためのプロジェクト・マネジメントの思想が徹底していたとは言い難い。</p>	②本事業を進めるにあたり、定められた経費及び期限で遂行していくよう、より一層プロジェクトマネジメントの思想の徹底を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内で定期的に進捗管理に関する会議を開催して、本事業についての課題を整理・共有し、進捗管理の徹底を図った。 ・東京地下鉄株式会社に対し、平成20年2月1日付けで、工程管理と工事費用縮減についての要請を行った。

監査項目	意見	改善方針	措置の内容
平成17年度の台東区負担35億円増額の根拠とその適正について	(仮称)上野広小路駐車場のように長期にわたる大規模な工事では、三者連絡協議会の協議内容について区としての対応を検討した経緯を文書として作成・保存しておくべきであった。	③重要な決裁時には、経緯が理解できるような資料を整理し、添付するなどして、今後の大規模事業を進める際に活用しやすい情報となるようにしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・三者連絡協議会の協議内容について、書面供覧を実施し、情報の共有化を図った。 ・今後実施される管理形態の決定等の重要な事項については、経緯を整理して資料化し、今後の大規模事業を進める際に活用可能な情報としていくこととした。
その他の意見	区は、一般会計の公共事業であるがために減価償却費を計算していなかったが、台東区の負担増加額3,509百万円を考慮したうえで管理会計上の数字を把握し、事前に適切な利益管理について検討すべきであった。	④今後の大規模事業の計画に際しては、減価償却費も含めて検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模事業の計画に際しては、減価償却費も判断要素の1つに含め、総合的に検討していくこととした。
その他の意見	他の駐車場は夜間割引や回数券割引等を導入しているが、(仮称)上野広小路駐車場は、現在のところ、これらを考慮していない定額(正価)の料金のみで計算していることから判断して収支見込計算は、より慎重に計算すべきであったと考える。	⑤本駐車場の運営にあたっては、利用者のニーズや周辺の駐車場の状況を見定め、区内外を問わず、多くの人が利用しやすいものとなるよう努めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度に周辺駐車場の実態調査を実施した。この結果に基づき、本駐車場の公共駐車場としての性格も踏まえながら、適切な運営形態、料金を設定していくこととした。 ・本駐車場への車両誘導の円滑化による利用増を図るため、駐車場周辺への誘導案内標識の設置、携帯電話・カーナビゲーションシステム等への満空情報提供を行うこととした。